

文教委員会資料

【新川崎地区小学校新設の事業進捗状況及び 工事施工手法について】

資料1 新川崎地区小学校新設の事業進捗状況及び工事施工手法について

資料2 新川崎地区小学校概要及び平面図

令和4年8月26日
教育委員会事務局

新川崎地区小学校新設の事業進捗状況及び工事施工手法について

1 経緯

(1) 進捗状況

- ・新川崎・鹿島田駅周辺地区は、大規模共同住宅が複数整備され、子育て世代を中心に人口の増加が進んでいるため、令和7年4月開校を目標に新設小学校の整備を計画
- ・令和2年度に基本計画を見直し、「地域と共に、ひとや環境にやさしい未来を創る次世代小学校」を理念とし、(1)高機能かつ多機能で弹力的な施設環境の確保、(2)地球環境へ配慮し、持続可能な社会の構築への貢献、(3)地域の交流や多様な活動を支える、安全・安心な地域コミュニティの核の形成を基本方針として整備

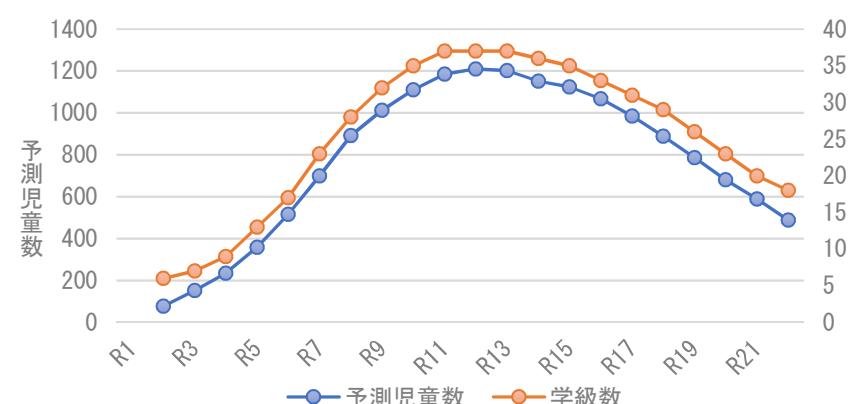
■これまでの取組

令和2年度	学校用地取得、基本構想・基本計画の策定
令和3年度	基本設計完了
令和4年度	実施設計着手

(2) 新校の主な特徴

ア 将来的な他用途転用への配慮

- ・用途転用可能エリア（校舎棟2F～4F南側の普通教室エリア）の集約配置
- ・間仕切り壁部のプレースをなくすことによる改修の容易性の確保など



イ 地域開放を念頭に置いた学校整備

- ・校舎棟1Fにおける特別活動室、みらいギャラリー、多目的ホール等の地域開放可能エリアの配置
- ・特別教室等の地域開放可能エリア（校舎棟2F～4F北側エリア）の集約配置

ウ 脱炭素化に向けた取組推進

- ・ZEB ready（エネルギー消費量を、従来建物の必要エネルギーの50%以下まで削減することを実現している建物）の実現に向けた、積極的な木材利用、雨水利用、太陽光発電（PPA事業連携）、高断熱・高気密化などの環境配慮施策の採用

2 工事監理等の手法検討

本小学校の整備期間である令和5～6年度に他の大規模建築工事が集中（工事金額3.5億円以上のA等級：令和4年度8件、令和5年度14件、令和6年度9件予定）しており、職員による工事監理等を行うことが困難



小杉小学校(平成29～30年度工事)の立替施行の実績等を踏まえ、川崎市まちづくり公社による立替施行を実施
※令和4年3月～5月に協議を行った結果、川崎市まちづくり公社で対応可能との回答

3 事業費（予定）

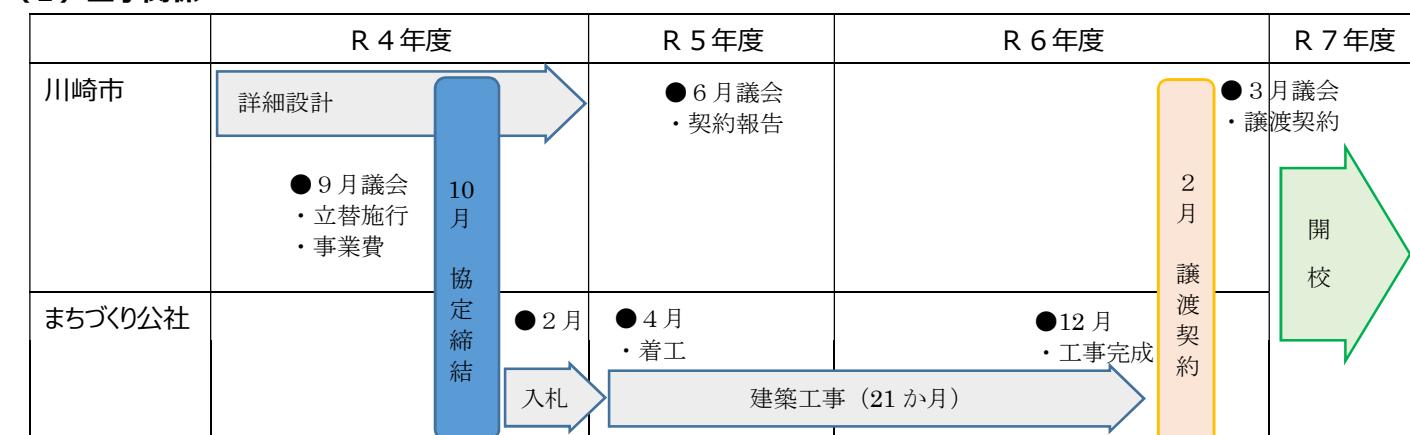
10,230,328千円（工事費9,591,191千円ほか。なお、わくわくプラザ分を含む。）

4 想定される課題

- ・新型コロナウィルス、ウクライナ情勢による資材調達への影響
- ・資材価格高騰による事業費の増額（設計委託手続き着手時点（R3.3）の概算工事費85.5億円から、令和5年1月時点（見込み）で約96億円へ上昇）

5 今後のスケジュール（予定）

(1) 工事関係



(2) 開校準備関係

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 令和5年度 | 通学区域及び校名の検討
学校設置条例改正の手続き |
| 令和6年度 | 学校設置許可申請
開校準備（備品等購入、委託契約締結等） |